

年 組 名前 :

# 高校生 手話講座で学ぶ

## 中央・天野さん「身近でサポートしたい」

今年の春休み。通学中の駅で、駅員が視覚障害者にさりげなく道案内している様子が印象に残った。漠然と「公務員」と考えていた将来の目標が「公務員で福祉関係の仕事」と明確になった。母親から講座があることを聞き、「興味を持った福祉のことに早く触れたい」と参加した。

新型コロナウイルス禍で多くの制限があったことも受講の動機に。「いろいろな行事が中止になって、チャンスは



杉原みずき  
穴山菜津美  
山本 就己

甲府東高2年の天野伊織さん(16)は中央市在住だが、市社会福祉協議会が主催する手話奉仕員養成講座に参加し手話を学んでいる。通学中に駅員が視覚障害者をサポートしている姿を見たのをきっかけに福祉に興味を持ち、受講を決めた。「知識を得て身近なところで障害のある人をサポートできるようにしたい」と話す。

〈杉原みずき〉

いつでもあるわけではないと知った。学べる機会を無駄にしない」  
講座は5月に始まり、来年

2月までの全40回で、聴覚障害や手話の基礎知識などを学ぶ。これまでに聴覚障害者による講義も受け、「聞こえる人との違いを実感し、ただ見ているだけでは気づけず、手助けできないのが現状だと感じた」という。陸上部の活動や塾など忙しい日々だが、「手話の知識だけでなく、具体的なサポートの仕方も聞きたい」と話している。

(2022年7月6日付 山梨日日新聞 21面)

### 問1

甲府東高の天野さんが、手話講座を受講するきっかけは、何だったでしょうか。

.....

.....

### 問2

講座は、全何回で、どのようなことを学びますか。

回数 ..... 回

内容 .....

### 問3

天野さんは、ちょっとしたことから興味を持ち、「学べる機会を無駄にしたくない」と受講を決めました。今、あなたが興味を持ち、学びたいものがありますか。

学びたい事 .....

その理由 .....